

新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、町民皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

年末に行われた総選挙で政権交代が起こりましたが、新政権には年の改まりに併せ、閉そく感を打ち破る斬新な政策を打ち出して頂き、今年こそは景気の回復、近隣諸国との善隣友好、地方活性化など、未来に夢の描ける年になるよう皆様と共に期待するものであります。

さて町政においては、昨年10月に町長、町議会議員選挙が執行されました。私は3選を果たさせて頂きましたが、議会は新人を迎えられ新たな構成でスタートされました。お互い切磋琢磨しながら町の発展を期して参る所存でございますので、引き続きご協力を賜りますようお願い致します。

昨年は古事記編纂1300年を記念して、様々な事業に取り組み、大きな成果があったと思います。6月には「1300年分笑って下さい」と吉本新喜劇の南部町公演が開催され、1400名もの皆様に腹を抱えて笑って頂き、明

日の元気を養いました。秋には赤猪岩神社線の道路も完成し、土日には売店も営業したところ800名もの観光客をお迎えする事が出来ました。

そして年末には「赤猪岩古代米」が誕生しました。あいま手間山地域振興協議会の音頭取りで、寺内農場の皆さんが神社の前の田で栽培された赤米で、振興協議会より赤米とポスター、ガイド、レシピを持って来訪を受けました。

ガイドには、タンニンが含まれ白米と比べて食物繊維8倍、マグネシウム4倍、カルシウム3倍など栄養満点で、発ガン抑制作用、血圧や血糖値、コレステロールなどに改善効果があると紹介されています。地域の特性を生かして活性化の「火種」を作って頂いたものと感謝し、関係者の皆様へ心から敬意を表し感謝を申し上げた次第です。

このような前向きな取り組みの中に、南部町の発展が秘められていると思います。これを機会に町内全域に古代米の栽培が広がり、南部町の特産品化が出来ないか、加えて古代の

雑穀を荒廃地や耕作放棄地に栽培して見てはどうかなど、夢は限りなく広がってきます。

「火種」を絶やさず支援して大きく育て、今年が更に飛躍発展の年になるように念じつつ、新春のご挨拶と致します。

平成25年 元旦

南部町長

坂本 昭文

